

# 思考が浅い ことは明白ですよ。

It is obvious that your thinking is very shallow.

とにかく期待に応えなければ

「やりたいことがわからないから、色々学んでみたい」。高校時代をサッカーに捧げた大島は、幅広い分野から専攻を選べる国際教養学部へ進学。期待に胸を膨らませた入学初日、それは地獄の幕開けだった。

すべての授業が英語。毎日夜が明けるとまで勉強しても、教員の話すことが一つも理解できない。焦る大島に「国際教養学部1期生」というプレッシャーが追い打ちをかけた。「優秀な

明白ですよ」。帰国後、確かな英語力の向上を実感していた大島は、教員の言葉に啞然とした。「まだ何も学べていないんだ」。依然としてやりたいことがわからない自分に焦っていた。そんな大島の背中を押したのは、教員と同期の存在だ。「自分の人生のだから、とにかく楽しいと思えることをやったら？」大島の可能性を信じるが故の言葉だった。「もう一度ゼロから、夢中になれることを探したい」。新たな決意を胸に一層勉学に励んだ。

3年秋学期を迎え、大島は企業就職か海外大学院進学で迷っていた。「自分が素直にワクワクするのはどっちだろう」。そう考えた時、より専門的に学べる大学院進学だと確信した。自分の選択が正しいの不安になる度に「自分の道は自分でできり拓くんだ」と言い聞かせ、必死で勉強した。その結果、世界最高峰の大学院7校への合格を果たした。

大島の4年間を象徴する教員の言葉がある。「国際教養学部は、いわば魚の釣り方を教える場所だ。自分が本当に欲しい魚が見つかった時、それを確実に釣り上げられる力をつけるのが国際教養学部です」。夢への第一歩を掴んだ大島はいま、その意味を深く実感しているという。

大学院卒業後は自身の研究成果をいかし、東南アジアの社会起業家支援を行う企業で働く。「自分が楽しいと思うことを軸に据えつつ、社会に価値ある仕事をしたい」。夢中になれることを見つけた大島は、嬉しそうに語る。

- 《論理的思考力》
- 《対人基礎力》
- 《創造的思考力》

海外大学院で学ぶうえで  
私が必要と思う  
SOKA Generic Skill

## 海外大学院 への道

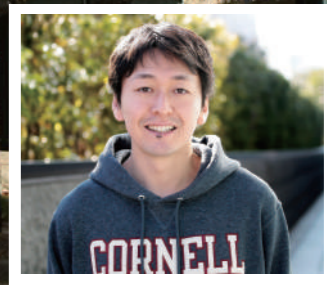
- GPA** 基本的に何においても A 以上の成績をとっていることが望ましいです。
- TOEFL/IELTS/GRE/GMAT** トップスクール出願には各試験でかなり高い基準が設けられています。
- 出願書類のエッセイ / 卒業論文** 自分が志望先大学にふさわしいことを、自己アピールエッセイや自身の研究成果を通じて伝えます。

成績を取り、誰もが羨む会社に就職する。それが自分の存在意義だと思いついていました。比較、競争、評価。他人が求める自分を追い続ける日々は、ただただ苦しかった。

そんな大島に一筋の光が差す。留学先の大学院生との出会いだ。映画やジャーナリズムなど、自分の好きなことを夢中で学ぶ姿が眩しかった。「大企業に就職することが本当にやりたいことなのか？」大島の胸に疑問が芽生え始めた。

楽しんでいって、きり拓け！

「君が英語で話していることを日本語訳してみたら、思考が浅いことは



大島輝一  
Kiyohito Osima

## 学生生活のTOPICS

- 【学問 ～「問うて学ぶ」ということ～】** 国際教養学部の教授陣の厳しくも温かい指導のおかげで、生涯に渡って誠実に謙虚に学んでいく姿勢を自身に刻むことができました。志高い同期や後輩たちと、深夜まで読み、考え、書き、語り合った日々がかけがえのない思い出です。「問うて学ぶこと」の意義に気づけたことは、大学院進学の一助かりになりました。
- 東南アジアの事業家を支援するプロジェクトに参加** 大学3年次に、フィリピンで教育系ベンチャーNPOのプロジェクトに参加しました。本気で仕事に取り組むその団体の姿や東南アジアの事業家との出会いを通して、仕事の目的観、仕事への情熱を学びました。本当に困っている人たちに貢献していくには何をしなければならぬかを考えるきっかけとなりました。
- 同級生たちとのルームシェア** 私の大学4年間を語るのに、このルームシェアを欠くことはできません。どんなに苦しいときも大変なときも、彼らとすべてを笑いに変え、日々楽しく卒業までやり抜くことができました。一生涯、最高の仲間たちです。

